生徒コード ハギ　5月2週分　曜　先生　月　日　時　分 ～ 時　分

構成用紙

題名 少年のころの桜に。(感)

ペンネーム 名前

第1段落

要約
散る桜のように…桜の花びら…

今年の桜は、どうでしたか？
散る様子を見たことはある？

〈構成〉
ヒント
・枝を離れた花びらを見ていて、ぴたりと表す言葉がない。

要約

このあたりがポイント？

・桜の花びらと、からっぽの葉と…見比べないものなので
・もし日本語にそれがなければ…

まるで 散るが世界の中は ほか のよう

たとえ

第2段落

美しい自然、心をうつ人の行い、ものすごくおいしい料理など…。

どんな体験？
友だちと公園にある山に登ったこと。

どんな感動？
頂上に立ったとき

ココがツボ！

第3段落

〈題材〉
言葉にできないような感動を味わった体験

体験実例

〈表現〉
うまい言葉がみつからなかったら、ちょっと笑いを。

ユーモア表現」

私の考えた

ユーモア表現」

作者のように「桜の散る様子」を言葉にする？

もし私が作者なら……
春風によって桜の花びらがまるで ピンクの雪のように地面にちる
と言うだろう。

または、取材メモ

他の体験
母は父と最近、歩きにくいことがあるようで、そのときに見た夜桜がきれいだったそうだ

第4段落

全主題
人間にとって、言葉とは…とまとめよう。

一般化の主題

人間にとって言葉とは…
人が思いや感情を伝え合うための大切な手段だ。それは単なる万能な道具ではなく、人のあたたかさにして、他者と繋がるための

完全に自分の気持ちを表現できるものではない。

万能な道具ではない。

使えそうなことわざ
「帯に短し、たすきに長し」

Let's Go！

だと思った。だから僕は言葉を大切にして、たくさんの人と関わっていきたい。